

# アグリ ワーク ポイント AGRI | WORK POINT



果樹林産センター 鈴木大造

## 園地の整備を行いましょ

2月は、土づくりや剪定、間伐、改植準備など園地の整備が重要となります。出荷もありますので、最後まで貯蔵管理も徹底してください。

## 貯蔵管理

温度5〜8℃、湿度85%にすることで、着色が進みます。2週間に一度程度は腐敗果の除去や貯蔵箱の差し替えを行いましょ。

## 樹勢回復

令和2年は、夏季の高温や秋口以降の乾燥などがあり、樹に負担が掛かりました。寒害による冬季の落葉は、着花量を減少させるので、寒冷紗やコモなどで被覆し、落葉防止に努めてください。また、ちっ素系液肥の葉面散布や土壌の乾燥防止として、敷きワラや暖かい日にかん水を行いましょ。

## 土づくり

土壌改良をすることで根の細根量を増やし、施肥の吸収効率の改善を図ってください。まずは、園地ごとに土壌分析を行い、園地の状況を把握しましょ。有機物を投入することで土壌が柔らかくなり、通気性や保水性が向上し、新根が発生しやすい環境となります。また、ミカン栽培に適した土壌pHは、5.5〜6.5です。土壌が酸性化していると、根の発根や肥料の吸収が抑えられてしまふので、必ず土壌改良を行ってください。

- ・キノックス 2000kg/10a
- ・苦土セルカ2号 160kg/10a

## 間伐

表年が予想される樹や園は、2月から剪定を始めます。剪定前に、樹と樹が密植になっていないか、樹が古く生産性が低くないかなど、一度園地を確認してください。密植園や老木園は、病害虫の発生や隔年結果の助長など、高品質果実の安定生産が難しくなります。樹と樹が混み合っている場合や樹齢25〜30年以上になったら思い切って間伐をしてください。3月には、注文した苗木の植え付け時期にもなるため、植え穴などの準備も行いましょ。